

## 渕一

令和2年度 学校だより 令和 2年 6月 1日 足立区立渕江第一小学校

## 学校が再開しました

校長 大森千里

政府の緊急事態宣言が解除されました。学校は長い臨時休業期間を経て再開しました。 数か月に及ぶ外出自粛期間には、子供たちはもちろん、保護者の皆様、地域の皆様は不自 由な毎日をお過ごしになられたと思います。学校からの学習課題の配布その他様々な場面 で、皆様にはお手数をおかけし、またご理解とご協力をいただきましたことに、お礼申し 上げます。

我が国の社会、個人生活に甚大な被害を及ぼした東日本大震災。私は、被災時にもうこれ以上の天災は生涯経験しないだろうと考えていました。しかし、今回の新型コロナウィルスの感染拡大はそれを凌ぐものです。国内外のあらゆる社会機能が停止し、私たちの社会生活、日常生活に大きな影響を及ぼしました。全く考えられない出来事でした。このことによってお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、医療従事者の方々をはじめ、様々な場面でご尽力いただいた皆様、そして、ご家族の安全な生活のために精一杯努力してくださった保護者の皆様に、敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

数か月ぶりの登校に、子供たちは緊張したり不安な気持ちになったりすることがあるかもしれません。保護者の皆様の中にも、今後の学校での安全確保、また学習や生活にご心配やご不安を抱えている方がいらっしゃると思います。学校の年間予定などについてもお問い合わせをいただいております。お子様方の安全確保の方法や今後の行事等の予定については、今後も学校メールやホームページを活用して、決定次第速やかに皆様にお伝えしてまいります。

学校再開後は、子供たちが学校生活に慣れることをまず優先し、前期が終了する10月初旬までを目途に勉強の遅れを取り戻していきます。今後の学校生活についてご不明な点が多いかと思います。とりわけ、新1年生の子供たちと保護者の皆様はご不安やご心配がおありかと存じます。そのような時には、どうぞ学校や学級担任にご相談ください。

ここ数日、新型コロナウィルスの新たな感染者が減少していると報じられています。しかし、この事実は、私たちが新型コロナウィルスに勝利したことを意味するものではありません。感染拡大防止の取組はまだ続いています。油断は禁物です。今まで通り、3密をさけ、衛生管理にしっかり取り組み、健康で安全な生活を維持していきましょう。

<u>6月の目標</u> 身のまわりの整とんや清潔に 心がけましょう。



曜日		行事予定	登校 グループ	曜日		行事予定	登校グループ	
1	月	分散登校開始 午前中授業、給食なし	A	15	月	256 年身体計測・視力・聴力	В	
2	火	午前中授業、給食なし SC 来校日	В	16	火	256 年身体計測・視力・聴力 SC 来校日	C	
3	水	午前中授業、給食なし	C	17	水		Α	
4	木	簡易給食開始 (全学年)	A	18	木		В	
5	金	SC 来校日	В	19	金	分散登校終了 SC 来校日	C	
6	土			20	土			
7	日			21	日			
8	月		C	22	月	通常登校開始		
9	火	134 年身体計測・視力・聴力 SC 来校日	A	23	火	開校記念日ですが、授業日になります。 SC 来校日		
10	水	134年身体計測・視力・聴力	В	24	水			
11	木	134 年身体計測・視力・聴力	С	25	木			
12	金	256 年身体計測・視力・聴力 SC 来校日	A	26	金	SC 来校日		
13	土			27	土			
14	日			28	日			
4、6年生は聴力検査はありません。				29	月	委員会活動(6校時)		
				30	火	SC 来校日		

6月のぱれっとは、分散登校期間中(1日~19日)は中止になりました。

22日以降のぱれっとの予定は、足立区教育委員会より連絡があり次第、すぐにご連絡いたします。

警視庁の「子どもの交通事故防止関連 子ども交通安全情報」では、緊急事態宣言の発令に基づいて、「緊急事態宣言が発令されて以降、都内の交通量は減少し、交通事故発生件数と負傷者数は2019年に比べ減少傾向となっていますが、都内では子供が犠牲となる悲しい交通事故が後を絶たず、とくに"横断歩道を横断中"に事故に遭うケースが目立ちます」と書かれています。

この度、学校生活が分散登校という形で再開しましたが、「子供たちがいない日常」に慣れてしまったドライバーが、交差点などで子供たちの存在に気付くのが遅れてしまうことが考えられます。 学校でも指導を徹底してまいりますが、保護者の皆様にも、以下の3点についてご指導いただきますようお願いいたします。

- ①自らの身を守る安全行動の徹底を!
- ②交差点など危険の多い場所では手をつなぐ!
- ③保護者自らが子供に正しい手本を示す!

未来ある子供たちが道路を安全に通行するためによろしくお願いいたします。